

令和5年 10 月 27 日

福井県が発行する「グリーンボンド」への投資について

株式会社アスピカ(代表取締役 渡辺 恒治、以下「当社」という)は、このたび、福井県が発行するグリーンボンド(福井県令和 5 年度第 6 回公募公債(グリーンボンド))、以下「本債券」という)に投資したことをお知らせします。

「グリーンボンド」とは、環境改善効果を有するプロジェクトに充当先を限定した資金調達のために発行される債券です。本債券の発行にあたって、福井県は「福井県グリーンボンド・フレームワーク」を策定し、第三者機関である株式会社格付投資情報センター(R&I)から、国際資本市場協会(International Capital Market Association:ICMA)が公表する「グリーンボンド原則 2021」、環境省が公表する「グリーンボンドガイドライン 2022 年版」への適合性に関するセカンドオピニオンを取得しています。

本債券の発行による調達資金は、福井県が取り組む環境改善効果のある下表のグリーン化事業に充当される予定です。

| ICMA 原則上の事業区分 | 主な対象事業 |
|--------------------------------|--|
| クリーン輸送 | 北陸新幹線の整備、地域鉄道の基盤整備 電動車・充電設備の導入 |
| 再生可能エネルギー | 太陽光発電の導入、小水力発電の導入 |
| エネルギー効率 | 公共施設等の省エネ化、空調等設備の省エネ化、照明の LED 化 |
| クリーン輸送 再生可能エネルギー エネルギー効率 | 敦賀港におけるカーボンニュートラルポート形成の推進 |
| 生物自然資源及び 土地利用に係る 環境持続型管理 | 林道の整備、施設等の木造・木質化 漁港・漁場の整備、県立大学先端増養殖学科の整備等 公園における環境保全阻害防止対策 |
| 気候変動への対応 | 河川・ダム等の整備、ため池等の整備、災害時の緊急輸送道路となる中部縦貫自動車道の整備 砂防施設の整備、治山施設の整備 港湾施設の整備、海岸保全施設の整備 |

引き続き、当社は、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、本債券をはじめとした ESG 領域における投融資を一層推進してまいります。

<本債券の概要>

| | |
|-----|------------------------------|
| 名称 | 福井県令和 5 年度第 6 回公募公債(グリーンボンド) |
| 年限 | 10 年 |
| 発行額 | 50 億円 |
| 発行月 | 令和 5 年 10 月 |

以 上